

グラビア	UNDER 35 セミナー in 杵築	1
発掘!地域の希望のタネ	奈良県十津川村〈十津川式林業6次産業化〉	5
給食のじかん	〈おくずかけ〉宮城県仙台市 安藤俊和	6
書評	『虎の巻〜発達障がいのある人たちへの八つの支援ポイント』福井智恵	8
焦点	精神保健福祉法改正案の課題 崔 榮繁	10

特集 “発達障害”を知る

	当事者が求めるものとは — 困りごとと周囲・自治体への期待	広野ゆい	16
インタビュー	「発達障害」をめぐる素朴な疑問	小坂浩隆 聞き手●明石秀美	24
	発達障害を抱える人の就労支援の現状と課題	小川 浩	34
	発達支援をつなぐ地域の仕組み「湖南省発達支援システム」 — 誰もがいきいきと安心して生活できる	大濱早苗	41
	NPOと自治体との連携による発達障害支援 — 発達障害支援の佐賀県モデル	江口寧子	50
各県自治研活動レポート	地域ブロック集会で自治研を活性化! — 自治労宮崎県本部	鬼束善史	56
チャレンジサポート	周りを巻き込んでいく面白さと後味の良さ さぬき市編●	湯川致光	58
連載ルポ	「旧町村部」を歩く 第4回 愛知県豊田市旧足助町など(前編)坂本 誠		60
連載	『月刊自治研』を読む(第二季) 石毛鉄子+上林得郎+ 座談会●『月刊自治研』と七〇年代 佐野幸次+篠田 徹		66
	『月刊自治研』2017年総索引		75
	次号予告・編集部から		80



「虎の巻」発達障がいのある人  
たちへの八つの支援ポイント」  
<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/hattatu/toranomaki.html>



札幌市では、二〇一〇年度より「札幌市発達障がい者支援体制整備事業」を実施し、発達障がい者が社会で十分活躍できよう支援の体制づくりに取り組んでいます。

「虎の巻」は、地域生活、就労の課題に関する検討を続けるなかで、発達障がい者の働く力が存分に発揮できるよう、雇用側となる企業の担当者向けに札幌市独自の普及啓発冊子を作成しようと、市内の就労支援関係者によるプロジェクトチームを立ち上げたのが作成のきっかけとなっています。二〇〇九年度に「職場で使える虎の巻」、二〇一〇年度には「暮らして使える虎の巻」を作成しています。

この二冊の作成後、虎の巻を見た教育委員会から、「是非、学校の先生の発達障がいの理解が深まるよう学校編を作成したい」との協力依頼を受け、これ以降は、教育委員会と保健福祉局の協働プロジェクトチームとして、「学校編」「続・学校編」「子育て編」と作成を重ねています。

「虎の巻」は、障害特性の説明や羅列ではなく、力を引き出す支援ポイントを重視したもの、イラストにより視覚化し、わかりやすく情報が共有化できるものと

しています。また、発達障がい者と周りの人の認識について、互いのズレが確認できるコミュニケーションツールとしても活用してもらおうことをねらい作成しています。

一冊目の「職場編」の作成から八年が経過していますが、現在も企業や学校での研修などで活用いただいています。また、今年の四月二日の世界自閉症啓発デーに、twitterをきっかけとして、「虎の巻」が分かりやすいと全国の多くの方に見ていただくことができました(「虎の巻」は札幌市のホームページに掲載しています)。

発達障がいのある人の特性は個々に違いがあります。「虎の巻」で掲載している内容は一例ですが、発達障がい者と周りの方がともに考え、互いを理解しあうきっかけになればと願っています。

評者 福井智恵  
札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課 発達障がい担当係長